

犯罪被害者支援のための財源確保のあり方  
—韓国に犯罪被害者保護基金を題材として—

帝京大学 宣 善花

## 1 経済的支援の意義

- (1) 経済的支援の重要性 国の責務
- (2) 経済的支援に関する議論 国による補償、加害者の賠償
- (3) 財源確保の在り方 被害者の‘回復’の観点から

## 2 犯罪被害者保護基金制度の概要

- (1) 導入の背景 財源の確保、迅速な対応
- (2) 法的根拠 「犯罪被害者保護基金法」(2010)
- (3) 運用状況

## 3 検討

- (1) 財源の確保 予算・支援額の増加、資金の運用  
罰金納付率の低下、罰金歳入率の引き上げ  
財源の安定的確保のための議論
- (2) 支援内容 直接的な支援事業の拡大  
間接的な支援中心の運用
- (3) 予算・手続 基金から一般会計へ移管  
審議・議決手続の一元化・迅速化

## 4 日本への示唆

- (1) 象徴的な被害回復
- (2) 国庫から基金に

### 【参考文献】

- 원혜옥 「범죄피해자보호기금제도의 개선방안」(2020)
- 정의롬 「범죄피해자보호기금 운용상 문제점 및 개선방안」(2019)
- 조흥중, 이정민 「범죄피해자보호기금의 재정건전성 개선을 위한 연구」(2016)